

令和2年火災・救急概況

南消防署
1月1日～12月31日

1 南区火災・救急状況

区分 \ 年別	令和2年	令和元年	増△減	
火災件数	30	43	△13	
火災種別	建物	21	34	△13
	林野	0	0	0
	車両	2	1	1
	船舶	0	0	0
	航空機	0	0	0
	その他	7	8	△1
焼損床面積 (m ²)	214	583	△369	
死者数 (人)	1	1	0	
負傷者 (人)	5	9	△4	
主な火災原因	放火(疑い含む)	9	9	0
	たばこ	5	12	△7
	こんろ	4	7	△3
	マッチ・ライター	1	0	1
	電気機器	1	1	0
救急出場件数	12,253	13,121	△868	
救急種別	急病	8,755	9,522	△767
	一般負傷	2,181	2,180	1
	交通事故	462	516	△54
	その他	855	903	△48

2 横浜市火災・救急状況

区分 \ 年別	令和2年	令和元年	増△減	
火災件数 (件)	624	685	△61	
焼損床面積 (m ²)	4,844	6,672	△1,828	
死者数 (人)	15 (3)	22 (5)	△7	
負傷者数 (人)	95	117	△22	
救急出場件数 (件)	194,639	212,395	△17,756	
救急種別	急病	133,283	146,207	△12,924
	一般負傷	36,244	37,897	△1,653
	交通事故	8,742	10,165	△1,423
	その他	16,370	18,126	△1,756

* 死者数欄()内の数値は、放火自殺者の内数

3 行政区別火災・救急状況

区分	年別	火災			救急		
		令和2年	令和元年	増△減	令和2年	令和元年	増△減
行政区別件数	鶴見	49	76	△27	14,245	15,645	△1,400
	神奈川	41	43	△2	12,360	13,177	△817
	西	30	26	4	7,564	9,708	△2,144
	中	58	60	△2	14,981	16,827	△1,846
	南	30	43	△13	12,253	13,121	△868
	港南	41	42	△1	11,728	12,917	△1,189
	保土ヶ谷	26	26	0	10,817	11,369	△552
	旭	41	38	3	13,053	13,846	△793
	磯子	27	35	△8	9,148	9,622	△474
	金沢	42	48	△6	10,883	11,575	△692
	港北	46	68	△22	15,291	17,159	△1,868
	緑	29	25	4	8,730	9,263	△533
	青葉	29	25	4	11,372	12,552	△1,180
	都筑	27	36	△9	7,941	8,811	△870
	戸塚	51	38	13	14,023	15,205	△1,182
	栄	12	13	△1	6,149	6,451	△302
	泉	24	27	△3	7,521	8,057	△536
	瀬谷	21	16	5	6,520	7,013	△493

※本年数値は速報のため、変更することがあります。また、表は前年同時期との比較です。

4 連合町内会・受持消防団別火災件数

連合町内会名	火災件数	受持消防団
太田東部連合町内会	0	1分団
太田地区町内連合会	2	
寿東部連合町内会	3	2分団
中村地区連合町内会	1	
蒔田連合町内会	5	3分団
お三の宮地区連合町内会	4	
堀ノ内睦町連合町内会	3	
井土ヶ谷地区連合町内会	2	4分団
北永田地区連合町内会	1	
永田みなみ台連合自治会	1	5分団
本大岡地区町内会連合会	2	
大岡地区連合町内会	1	
別所地区連合町内会	1	6分団
南永田・山王台連合町内会	0	
六ツ川地区連合自治会	1	
六ツ川大池地区連合自治会	2	1~6分団
連合未加入自治会、その他	1	
合計	30	

5 南消防団受持地域別火災件数

分団名	発生件数 (件)
第1分団	2
第2分団	4
第3分団	12
第4分団	4
第5分団	3
第6分団	5
合計	30

南消防かわら版(1月号)

発行者:南消防署

多言語広報による

テロ災害対応訓練を実施しました!

実施日:令和2年11月11日(水)

場 所:阪東橋公園(南区新川町1丁目)

内 容:東京 2020 オリンピック・パラリンピックなどの大規模イベントに備え、テロ災害を想定した訓練を行いました。「集客施設で何者かが化学物質を散布し、負傷者が複数発生した」という想定で訓練が進められ、消防隊等は防護服を装備して逃げ遅れた人の救助、除染、心肺蘇生を行いました。また、この訓練では初めて南消防団員による、日本語、英語、中国語を使用した多言語による避難誘導が実施され、外国人居住者にも理解できるよう広報を行いました。



震災時の火災に備えて、 遠距離送水訓練を実施しました!

実施日:令和2年12月6日(日)

場 所:太田地区町内連合会館から県立横浜清陵総合高等学校南側側道まで

内 容:震災時に消火栓や防火水槽などの水源が途絶えてしまった高地で火災が発災したことを想定し、遠距離送水訓練を実施しました。この訓練では全長約400m、高低差約40mの低所から高所に大量の水を送るため、通常火災では使用しない100mmホースを使用し、消防署員と消防団員が一丸となりホースを延長しました。近隣住民の方々の御理解と御協力もあり、消防署員と消防団員の連携が向上した訓練となりました。

